

薬物治療に繋がる製剤・DDS (Drug Delivery System) の研究開発



薬学科 (創剤科学分野)

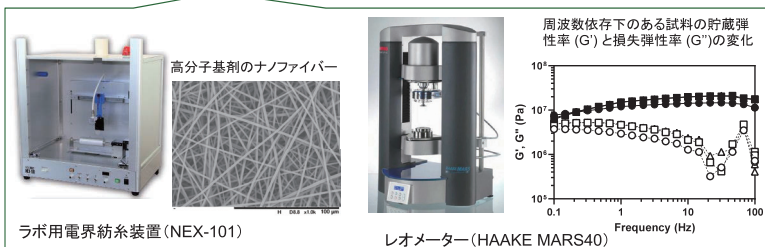
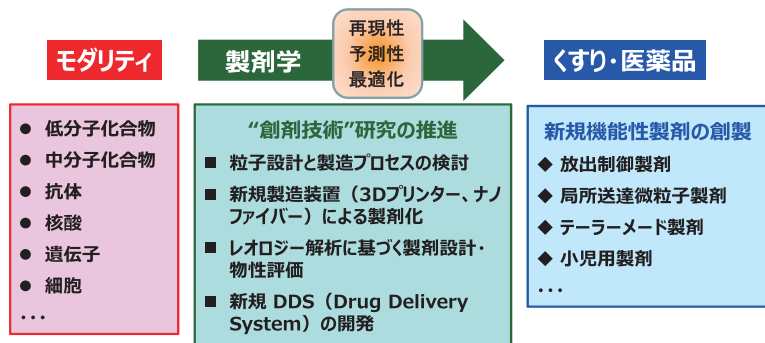
近藤 啓

- 連絡先 TEL: 054-264-5614 FAX: 054-264-5615
- ホームページ <https://w3pharm.u-shizuoka-ken.ac.jp/pharmeng/>

キーワード 製剤設計, 薬物放出制御,
DDS (Drug Delivery System), 新規剤形開発, 吸収改善,
レオロジー, ナノファイバー



近年、低分子化合物の他、中分子化合物、抗体、核酸・遺伝子、細胞などの新しいモダリティの研究が進められているが、これらのモダリティを薬物治療に用いるには製剤・剤形化が必須である。機能的添加剤の創製、新たな製剤製造装置の開発、分析技術の進展により、製剤・剤形化技術が取り得る選択肢は拡大しており、技術確立における基礎研究の重要性は増大している。我々は従来の粉体工学に加え、電界紡糸法で調製したナノファイバーの医薬品への応用、レオロジー解析に基づいた製剤特性の処方設計へのフィードバックなどの新たな取り組みにより、添加剤機能や造粒工程の定量的評価を可能にするとともに、難吸収性物質の吸収改善、液剤・スプレー剤の滞留性向上の可能性を示している。新規製剤・剤形化技術の開発を通して、患者に届くモノづくりを念頭に置いた基礎研究を展開している。



アピールポイント

製薬企業で25年に亘り製剤研究に取り組んできた経験を活かして、製品開発に繋がる製剤設計、技術研究を進めます。